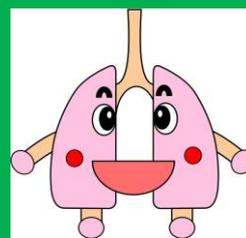


## 多摩府中保健所感染症週報

令和元年 第46週 (11月11日~11月17日)



肺えもん

## 今週の傾向

- ★ 管内のインフルエンザ発生報告数は増加傾向です。
- ★ 手足口病の報告数は、管内では警報レベルが続いています。
- ★ 東京都内ではマイコプラズマ肺炎の報告数が増加傾向です。(2ページ参照)

## ● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第45週	第46週	第45週	第46週
インフルエンザ	インフルエンザ	3.28	5.31	1.11	2.01
小児科	RSウイルス感染症	0.15	0.10	0.27	0.24
	咽頭結膜熱	0.40	0.25	0.30	0.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90	3.05	1.88	2.78
	感染性胃腸炎	2.80	4.55	3.79	5.05
	水痘	0.45	0.35	0.28	0.48
	手足口病	2.55	2.90	1.89	1.60
	伝染性紅斑	0.25	0.25	0.22	0.18
	突発性発しん	0.40	0.90	0.37	0.56
	ヘルパンギーナ	0.15	0.25	0.20	0.17
	流行性耳下腺炎	0.10	0.05	0.05	0.06
	不明発しん症	0.05	-	0.03	0.04
	川崎病	-	-	0.02	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	0.37	0.26
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	0.08
	無菌性髄膜炎	-	-	0.04	0.04
	マイコプラズマ肺炎	0.50	0.33	1.00	0.92
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	0.08
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-
	インフルエンザ(入院)	0.50	0.33	0.21	0.08

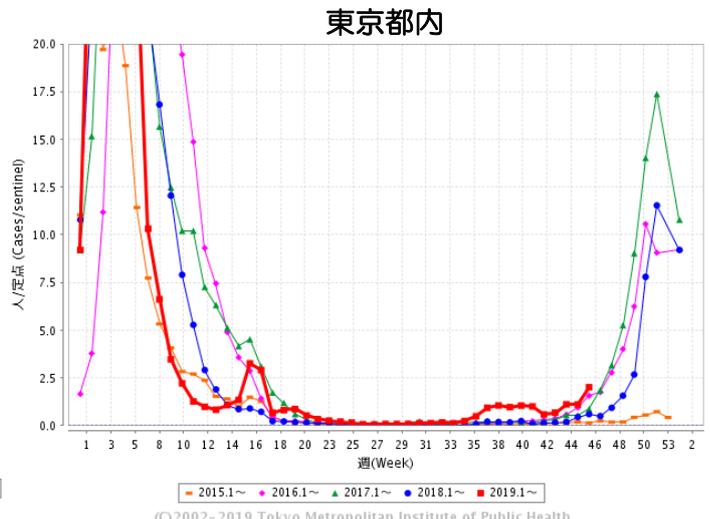
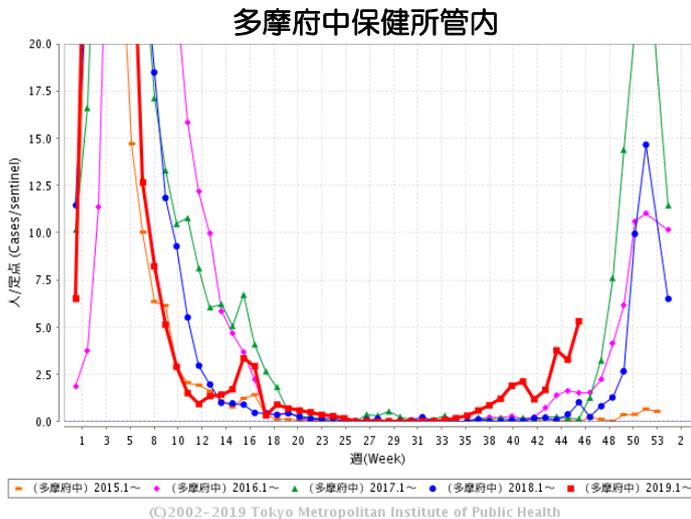
※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関(定点医療機関)」を指定し、指定届出機関は対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

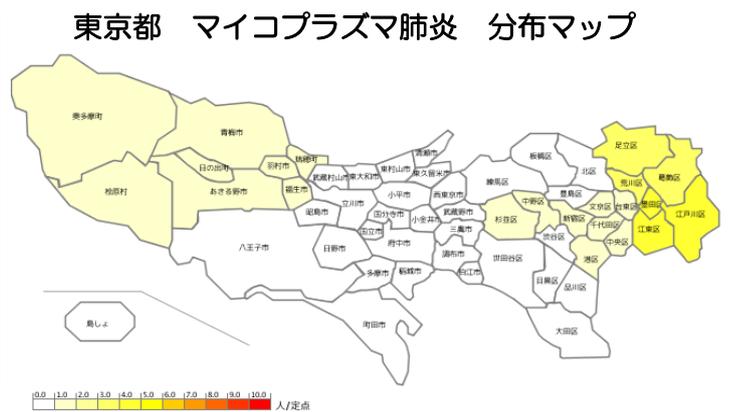
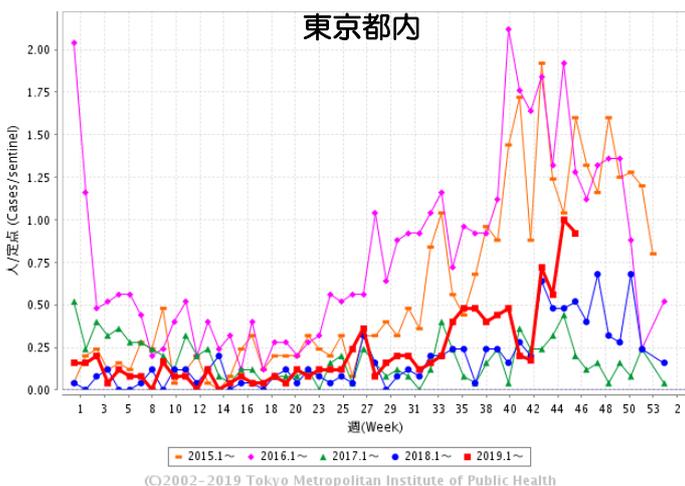
今週の状況

※赤線は2019年第46週までの定点当たりの報告数

●インフルエンザ・・・管内の発生報告数は、高めに推移しています。



●マイコプラズマ肺炎・・・都内の発生報告数が増加しています。



【マイコプラズマ肺炎とは】

細胞に寄生する極めて小さな細菌であるマイコプラズマ・ニューモニアによる感染症です。幼児、学童期、青年期を中心に全年齢で1年を通して報告があります。

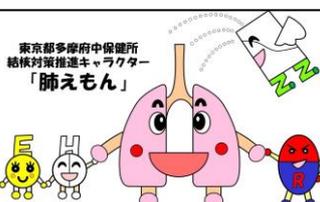
【症状】

発熱、全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾性の咳がみられます。咳は経過に従って徐々に増強し、解熱後も3～4週間程度続きます。重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎、中耳炎などの合併症がみられることもあります。

【治療】マクロライド系の抗生剤を使用します。

【予防】手洗い、咳エチケットを心がけましょう。

(参考：東京都感染症情報センターホームページ <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/mycoplasma/>)



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当  
TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報